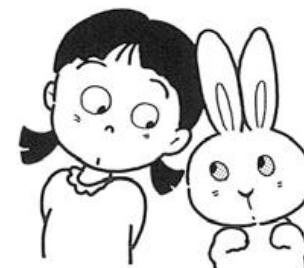


流行性角結膜炎(はやり目)が流行っています

流行性角結膜炎はアデノウイルスが原因で、1～2週間の潜伏期後、症状は少なくとも1週間以上続き、長引けば2週間～1ヶ月ほど続く場合もあります。結膜炎症状のある間は感染力が続きます。

**症状：目の充血、痛み、異物感、まぶたの腫れ、目やに
耳の前にあるリンパ節の腫れと圧痛が現れる**



目やにに触れた手は感染拡大の原因になるので、手洗いを励行しましょう。

タオルやハンカチなどの共用は避けましょう。症状のある間は、使い捨てのできるペーパータオルやティッシュを使うと安心です。



流行性角結膜炎は、「学校において予防すべき感染症」に指定されていますので、

学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまでは大学への出校はできません。

①流行性角結膜炎と診断されたら、保健管理室へ連絡をしてください。

②罹患したことを証明できる文書(診断書等)を提出した方に限り、

出欠席に関する配慮の依頼文書を保健管理室で発行することができます。

注!意